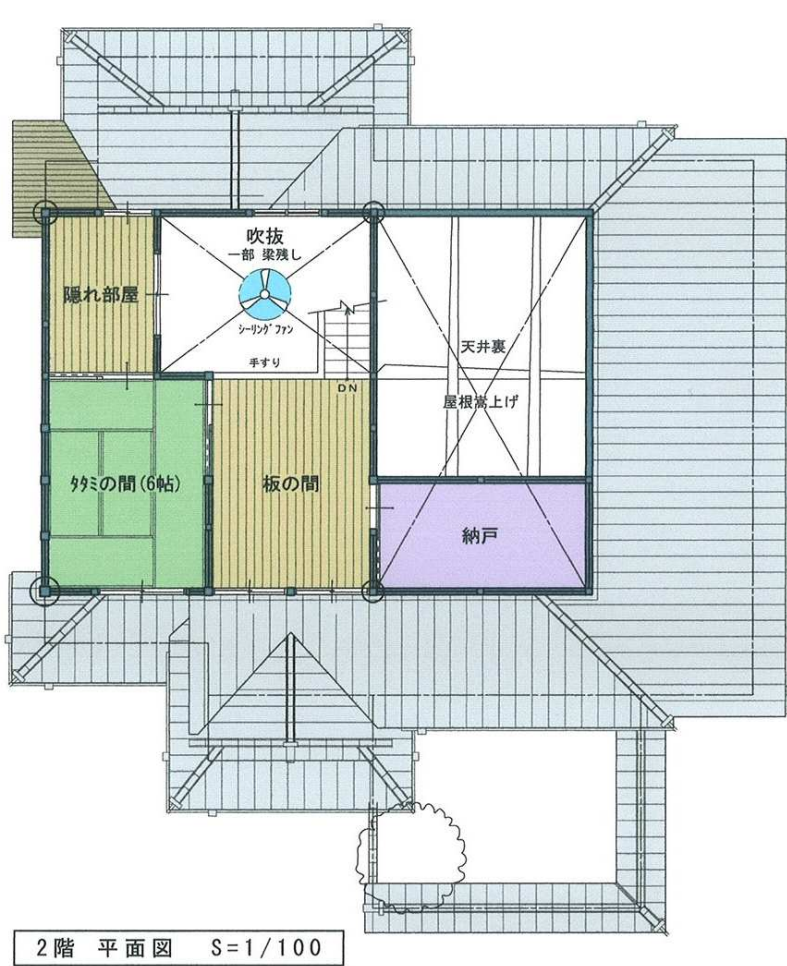
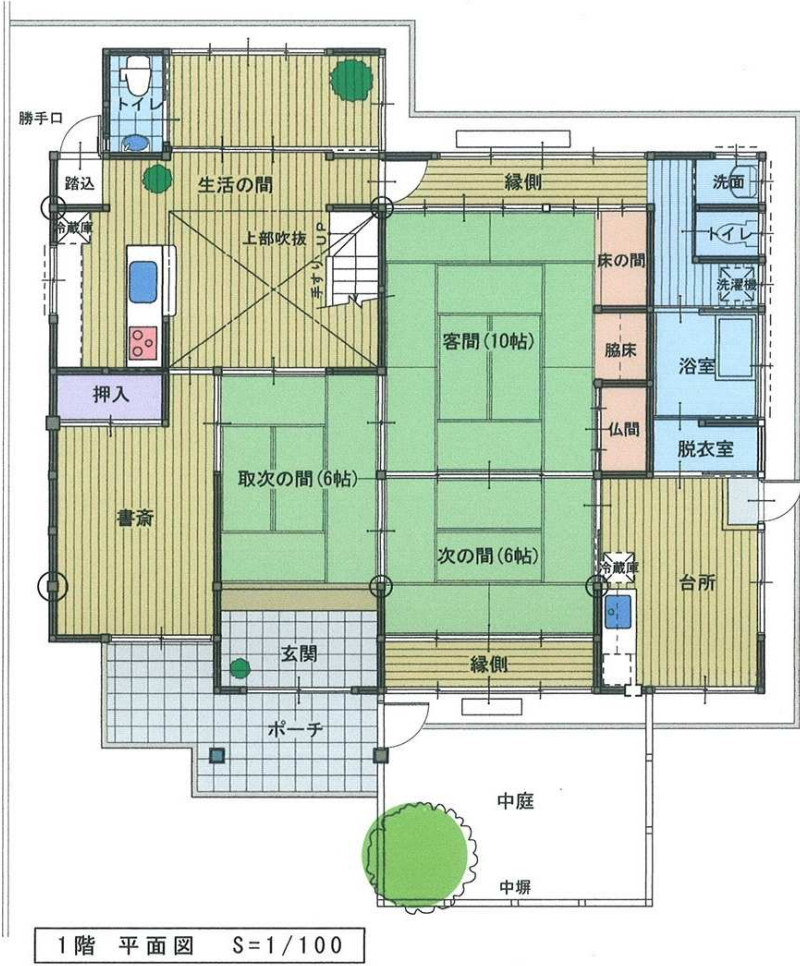


第19回豊の国木造建築賞応募作品

築百二十年・民家の再生

甦る畑中の家『うらの秦屋』

明治の「佇まい」を残しながら「現代の住まい」に再生する。



南側全景 昭和40年代に、西側約三分の一ほどを解体したため全体のバランスが悪く、解体部分の梁の損傷が激しかった。



軸組みを残して全面解体



再生【安定感】

南側外観

東側の下屋根を嵩上げし、全体を大屋根とし、棟を長くすることで安定感を出している。また、玄関部分に入母屋の屋根をかけることにより、建物にメリハリが出来て、120年の歴史の重みを感じられる。



再生【雰囲気】

取次ぎの間の様子 威厳があるが暗い印象を受ける。



再生【構成美】

小屋裏の大梁 とてもしっかりしている。曲り木が美しい。



取次ぎの間 建具と壁を明るい基調で仕上げる。ケヤキの大引き天井は補修にとどめそのまま残す。



生活の間 中二階部分を吹き抜けとし、隠れていた小屋梁を化粧で魅せる。意図的でない構成美を感じる。



配置図 S=1/300

建物所在地	(大分) (市) 町・村	建築主氏名	(秦 亮)	入居(予定)の家族構成(人数、年齢等) ※住宅のみ記入	(2人 夫婦)	主要用途	○住宅 ・住宅以外()
竣工年	平成 15 年 9 月	規模	2 階 建 延べ床面積(163.86)㎡	《作品の特徴》あてはまるのものに○をつけ、その内容を()内に具体的に記入してください。			
住宅金融公庫融資	・あり ○なし	工事費(建物のみ設備含)	約 2350 万円 (14.3万円/㎡)	○街なみや景観に配慮 ○木の素材を生かした意匠 ○コスト低減に工夫を凝らしている ○高齢者等に配慮(バリアフリー住宅) ○環境に配慮した住宅(構造材の再利用) (低エネルギー、自然エネルギーの利用率) ・新しい技術や工法を採用 ・デザインやプランニングに新しい提案 その他(基本理念:先祖に対する畏敬の念を大切に。)			
応募者	住所(速見郡日出町大字川崎514-3番地) TEL 0977-72-2336 氏名(浅野 健治)	区分	()建築主 (○)設計者 ()施工者	畑中に残る庄屋家(本家・東の秦屋・西の秦屋・うらの秦屋)の内の、うらの秦屋を軸組みを残して前面改修し、今に再生した。			
設計者	住所(速見郡日出町大字川崎514-3番地) TEL 0977-72-5960 氏名(浅野建設一級建築士事務所 浅野 健治)	①郷愁・畏敬 先祖の残してくれた建物を、面影を残しながらも現代に使えるように改修し、次世代に伝える。					
施工者	住所(速見郡日出町大字藤原1727番地) TEL 0977-72-5960 氏名(街)浅野建設 浅野松治郎	②構造・構成美 昔の職人の手仕事を残す。一つ一つの寸法は まちまちでも、造りあげられたときに 全体として 美しく構成。					
③自然素材 地元産出の材料をできるだけ多く使う。その土地の気候風土に建っていた民家は、その土地で育った材料が一番。							